

2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社クロスキャット

上場取引所 東

コード番号 2307 URL <https://www.xcat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 貴功

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営財務統括部長 (氏名) 高尾 良平

TEL 03-3474-5251

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,639	31.4	122	410.3	150	277.3	99	328.3
2021年3月期第1四半期	2,009	4.5	24	65.5	39	53.1	23	57.0

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 75百万円 (78.3%) 2021年3月期第1四半期 346百万円 (672.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	13.32	
2021年3月期第1四半期	3.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	5,952	3,532	59.3
2021年3月期	6,510	3,612	55.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 3,532百万円 2021年3月期 3,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		22.00	22.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	20.9	180	37.7	210	40.7	130	40.3	17.33
通期	11,000	14.3	500	1.3	550	1.9	371	0.4	49.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社クロスリード、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	9,210,960 株	2021年3月期	9,210,960 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,708,123 株	2021年3月期	1,708,123 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	7,502,837 株	2021年3月期1Q	7,502,837 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。この結果、前第1四半期連結累計期間と収益の会計処理が異なることから、以下の経営成績に関する説明において前年同期比(%)を記載せずに説明しております。

当第1四半期連結累計期間(2021年4月～2021年6月)におけるわが国経済は、ワクチン接種普及効果への期待もあり持ち直しの動きがみられたものの、再び新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が拡大傾向となり、依然として先行き不透明感が残っております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、引き続き、クラウドコンピューティング、AI、IoT、ビッグデータ、RPAなどの先端技術を活用した「DX(デジタルトランスフォーメーション)」推進の動きが活発化しており、企業の競争力強化のためのIT投資意欲が拡大すると見られています。

このような状況下において当社グループは、2021年4月から2024年3月における中期経営計画「Impress with customers 2023」に基づき、社会課題解決型ビジネスに取り組むIT企業グループを目指し、社会課題解決と経済成長を両立する社会「Society5.0」の実現に向けて取り組み、SDGsの達成に貢献してまいります。持続的な事業成長を実現するために「コア事業の拡大」、「先端技術の活用」、「新規領域への取り組み」、「グループ経営基盤の強化」の4つの基本戦略を推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主として官公庁、通信及び製造向けが好調に推移しました。昨年11月に連結子会社化した株式会社クロスアクティブの貢献もあり、結果として、売上高は2,639百万円(前年同期は2,009百万円)、営業利益は122百万円(前年同期は24百万円)、経常利益は150百万円(前年同期は39百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は99百万円(前年同期は23百万円)となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、当第1四半期連結累計期間の売上高は246百万円増加し、営業利益及び経常利益はそれぞれ47百万円増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ557百万円減少し、5,952百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金1,673百万円、受取手形、売掛金及び契約資産1,999百万円、投資有価証券924百万円であります。

負債につきましては、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ477百万円減少し、2,420百万円となりました。その主な内訳は、買掛金369百万円、短期借入金500百万円、退職給付に係る負債571百万円であります。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、3,532百万円となりました。その主な内訳は、資本金1,000百万円、利益剰余金3,118百万円であります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.8ポイント上昇し59.3%となりました。

収益認識会計基準等の適用により、利益剰余金の期首残高が6百万円増加したこと等により純資産が増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で2021年5月12日に「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,264,359	1,673,797
受取手形及び売掛金	2,885,107	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	1,999,725
その他	126,526	86,551
貸倒引当金	△2,862	△1,961
流動資産合計	4,273,132	3,758,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	334,917	334,917
減価償却累計額	△188,789	△192,403
建物及び構築物(純額)	146,127	142,514
工具、器具及び備品	240,704	244,065
減価償却累計額	△174,606	△180,506
工具、器具及び備品(純額)	66,098	63,559
リース資産	19,708	19,708
減価償却累計額	△4,223	△4,927
リース資産(純額)	15,485	14,781
土地	32,998	32,998
その他	3,582	3,582
減価償却累計額	△3,582	△3,582
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	260,709	253,853
無形固定資産		
のれん	366,164	345,310
顧客関連資産	52,928	50,892
ソフトウェア	156,130	145,728
ソフトウェア仮勘定	3,770	5,059
その他	4,288	4,411
無形固定資産合計	583,282	551,402
投資その他の資産		
投資有価証券	958,471	924,800
繰延税金資産	70,841	98,662
敷金及び保証金	240,271	242,229
その他	124,148	123,873
投資その他の資産合計	1,393,733	1,389,566
固定資産合計	2,237,725	2,194,822
資産合計	6,510,857	5,952,936

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	374,212	369,002
契約負債	-	60,494
短期借入金	800,000	500,000
リース債務	3,097	3,097
未払法人税等	156,268	21,423
賞与引当金	238,796	187,278
受注損失引当金	-	523
その他	566,735	466,509
流動負債合計	2,139,109	1,608,330
固定負債		
リース債務	13,937	13,162
繰延税金負債	46,388	94,857
退職給付に係る負債	566,854	571,811
資産除去債務	93,085	93,264
その他	38,680	38,680
固定負債合計	758,945	811,776
負債合計	2,898,055	2,420,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
利益剰余金	3,174,326	3,118,988
自己株式	△1,062,090	△1,062,090
株主資本合計	3,112,236	3,056,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	498,121	474,593
退職給付に係る調整累計額	2,444	1,337
その他の包括利益累計額合計	500,566	475,930
純資産合計	3,612,802	3,532,829
負債純資産合計	6,510,857	5,952,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,009,483	2,639,467
売上原価	1,577,984	2,048,701
売上総利益	431,498	590,765
販売費及び一般管理費	407,398	467,784
営業利益	24,100	122,981
営業外収益		
受取配当金	12,198	12,018
助成金収入	-	11,723
その他	3,704	4,389
営業外収益合計	15,902	28,131
営業外費用		
支払利息	127	682
営業外費用合計	127	682
経常利益	39,874	150,429
税金等調整前四半期純利益	39,874	150,429
法人税、住民税及び事業税	4,662	20,098
法人税等調整額	11,881	30,412
法人税等合計	16,544	50,511
四半期純利益	23,330	99,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,330	99,918

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	23,330	99,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	323,997	△23,527
退職給付に係る調整額	△1,197	△1,107
その他の包括利益合計	322,800	△24,635
四半期包括利益	346,130	75,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,130	75,282
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、システム開発契約に関して、従来は、進捗部分について成果の確実性が認められる開発については工事進行基準を、工期がごく短い開発については工事完成基準を適用しておりましたが、全ての開発について履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は246百万円、売上原価が198百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ47百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は6百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。